



校長室だより  
丹波市立進修小学校 2024.10.24

人権参観日 ありがとうございました

親子対話のご協力をお願いします

人権教育の目標は、児童が自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それが様々な場面等で具体的な態度や行動がとれる力をつけることです。道徳科も含め学校の教育活動全体で取り組んでいます。

10月24日には、本校が教材を通して学習している人権教育を参観していただきました。各学年の発達段階に応じた内容で人権についての認識や理解を深められるように進めています。差別を許さない心や見抜く力を持ち、正しい判断で行動できる子どもを育てたいと思っています。本日学習したことを子どもたちがお家でお話をして、保護者の方と一緒に考えていただく機会ともしています。参観されていない方もお子様が学校で学んできたことを聞いて一緒に考えていただけたらと思います。



PTA 人権講演会「SNS、ゲームとの安心安全なつきあい方」

株式会社つなぐラボ 代表取締役 中西将之氏

講演会には、3～6年生が参加しました。「自分だったらどうか」を考えながら進めていただきました。例えば「自分が入っていないグループトークで自分のうわさ話をされていたらどうですか？」自分のいないところで何を話されているか不安になるし、悪口を言われていたらいやだなあなど近くの人と話し合いました。でも感じ方は人それぞれです。

また、友人との待ち合わせに「2分も待ってるで、何やってるんだよ」と言われたらどう返信するか。ネットコミュニケーションの最大の特徴は「相手の顔が見えにくい」「文字のやりとりだけでは状況判断しにくいこと」をわかっていると相手は怒っているのか、何を考えているのか、想像力を働かせることで、どのように返信したらいいか、ちゃんと考えることが大事である

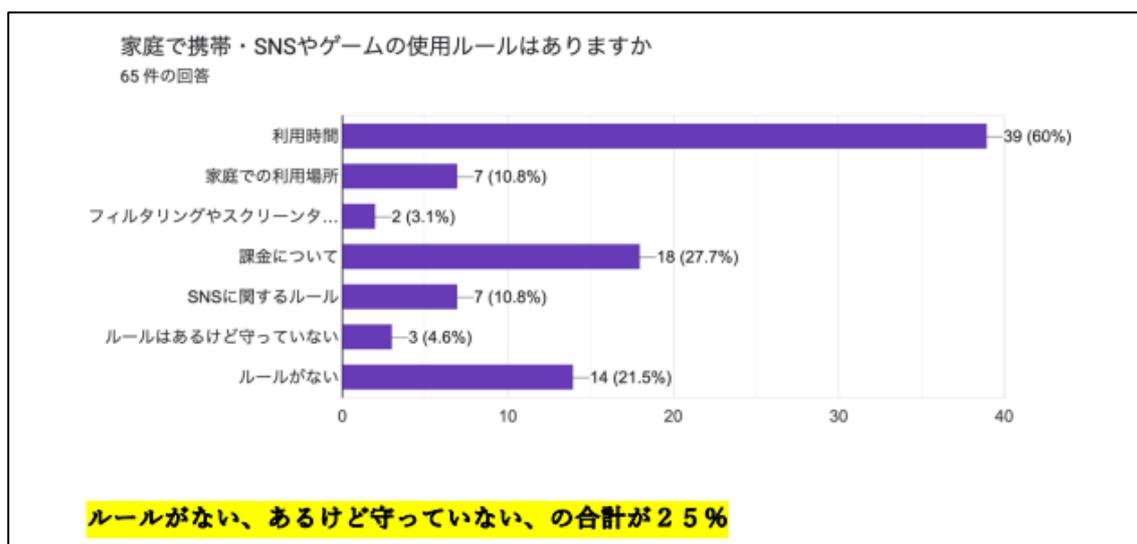
ことを聞きました。また、SNS で書けても、その言葉は面と向かって言えることなのかを考えることが大切であり、言えないことはネットには書かないと決めておくことです。



自分は平気でも「他人が」嫌だと思ったら「アウト」だそうです。これは、ネットの世界だけでなく、リアルな生活でもいえることです。今日の参観日でも考えた、人を大切にするを大事にしてこれからも生活できるように子どもたちと考えていきたいです。

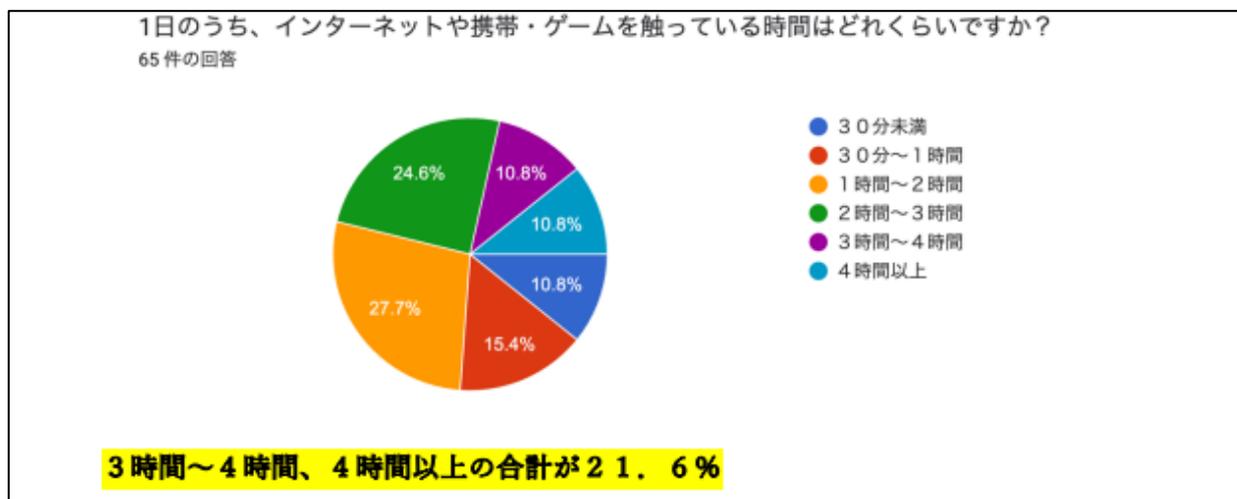


これからの情報社会の中でスマホやゲームなどと切り離れた生活は考えられません。もう生活の一部となっていますので、上手にコントロールしながら使っていくことです。



このアンケートは、事前に3～6年生の児童にとった結果です。お家での携帯や SNS などのルールについての質問です。ルールがないやあっても守っていないなどの合計が多いことが気になりました。そこで、お家では、ネットのルールを作ることが大切だと話されました。お子様と一緒にどんなルールがいいのか話し合ってください。ちょうど、21日からメディアコントロール大作戦に取り組んでもらっています。この機会にお家でのルールを決めてください。

どんなルールがいいのか、守るためにはどうしたらいいのかを考え、作ったルールは家庭で定期的に見直すことです。ルールは破られてあたりまえ、破ったときは対話のチャンスだと思ってください。失敗や成長に合わせたルールを工夫して作ることがよいようです。



スマホなどの情報機器を3時間以上使うと、学力低下につながることで、脳の認知機能に影響を与えます。また非認知能力（我慢する力、行動をコントロールするなど）が低下してくるという統計結果も出ています。また、睡眠の質も低下します。小学生にとって一番大切なのは睡眠であり、9時間くらいの睡眠が必要だと言われています。

様々な影響を与える SNS やゲームと上手につきあっていくために大切なお話をいただきました。子どもだけでなく、保護者の方と一緒に考えていくことが必要なことだと感じていますので、ぜひ今日のお話をお子様から聞いて、お家で話しあっていただけたらと思っています。